

島根大学国際交流センター

事業名	島根の田舎と世界の縁結びプロジェクト2013 ー地方の生徒たちと留学生をつなぐ国際交流のカタチ発見in邑南町ー			
実施期間	平成25年9月6日～9日			
場所	島根県邑智郡邑南町			
参加者	外国人留学生	地域住民・企業等	その他	合計
	22名	144名	42名	208名

＜実施内容＞

島根大学と包括協定を締結する島根県邑南町において、留学生に島根の伝統文化と生活様式を体験させ、併せて地元の方々との交流、高校生・小学生とのワークショップを通して遠隔地における継続的な国際交流関係を構築するため、「島根の田舎と世界の縁結びプロジェクト2013」を9月6日～9日にかけて実施した。農家民泊では各家庭にて家族として受け入れ、もてなして頂き、心温まる田舎生活を体験することができた。矢上高校での国際交流ワークショップでは留学生と高校生双方からのプレゼンテーションの後、留学生の母国料理を作ったり、今後どのように交流を続けていくかについてグループディスカッションを実施した。次回は高校生が大学を訪れ、留学生と交流するイベントを実施したいなど活発な意見が出された。石見東小学校では留学生によるお国紹介の後、各クラスにて児童から日本の遊びを教わったり、給食を共にしながら異文化交流を実施した。本事業により当初の目的通り、島根の田舎に暮らす人々と各国からの留学生双方において、新しい出会いと意義深い異文化交流が実現し、同時に今後さらに交流関係を発展させていくための基礎づくりができた。今後は、今回高校とのワークショップで出たアイデアを基に、次回の交流について計画、実施をしていきたいと考えている。



矢上高校生たちとの国際交流ワークショップ

＜参加者からのコメント＞

ヴ ティ タムさん(ベトナム)/Vu Thi Tam

今年の夏は最高の夏でした。私は邑南町に行く前に、友達が住んでいる大阪、神戸、静岡、広島、東京などの都会へ行ってきました。どこもコンビニ、店、電車、遊ぶ所が多く便利で楽しかったですが、人々は自分のことに夢中で、周りの人に関心を持っておらず、日本人は冷たいかなと感じてしまいました。しかし邑南町の民泊で、日本人の温かい心を感じる事が出来ました。邑南町は自然が豊かな所で天気も気候も良い所です。民泊で日本の料理を教わったり、皆で楽しくご飯を食べたり、初めて会った人という感じではなく、皆が久しく会ってない知り合いみたいでした。色々な所へ連れて行ってもらい、多くの事を教わり、写真を撮り、本当に家族みたいと感じました。また、邑南町に来て民泊体験だけではなく、学生たちと交流でき、団体活動も体験できました。留学生のみんなと知り合いになり、今回邑南町を見学できて、本当によかったと思います。そして前に日本人が冷たいと思ったことも、なくなりました。

毛琳(モウリン)さん(中国)/Mao Lin

民泊のお父さんとお母さんはとても優しく、私を家族の一員として受け入れてくれた幸せは一生忘れられない思い出となった。矢上高校では、日本の高校生と実際に交流することができ、自分の高校時代の思い出も蘇った。自分もこのように高校時代にたくさんの外国人と触れ合う機会があればもっと考え方が変わっていたかもしれないと思った。若い頃に多くの新しいものを見て感じる事が将来につながるのだと思った。石見東小学生との交流では、中国のじゃんけんを可愛い日本の小学生に教えた。いつか日本式のじゃんけんを中国の小学生に教えたいと思った。一緒に何かをすることで親近感を覚え、そして国、文化、歴史を越えて、心を繋いでいく事こそが交流だと思った。今回の旅を通し、交流は個人一対一から始まるものだと感じた。漠然とある国のことを考えるのと、ある国の誰かを知ってその国のことを考えるのとは、全然中身が違うと思う。一人ひとりの交流・理解は次第に積み重なり、そして外へ外へと広がって行って、いつか国規模の交流、理解にまで影響を及ぼすものだと考えている。その意味でも今度の見学旅行は私にとってとてもよかったと思っている。